

## 令和3年度事業計画（案）

### 1. 会務運営上の方針

隊友会が目指す「国民と自衛隊とのかけ橋として相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防衛施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する」という目的達成に寄与するため、神奈川県隊友会は次の事項を重点として活動する。

活動に当たっては、長期化する新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、社会的距離の確保など3密（密閉・密集・密接）を避け、会員・自衛隊員等の感染防止に努める。

### 2. 主要着眼事項

#### (1) 防災ボランティア活動

自衛隊・自治体と連携して防災ボランティア活動を可能な範囲で推進する。本活動を円滑に遂行するため、年1回を基準として「防災図上訓練」を、また、年2回を基準として「通信訓練」を行う。

#### (2) 予備自衛官等に対する支援

予備自衛官招集訓練の修了式等に参加して予備自衛官を激励する。この際、予備自衛官で隊友会未加入者に対して入会を積極的に推奨する。

予備自衛官の有資格者で予備自衛官に志願していない会員に対して志願を推奨する。防衛省は、特に、即応予備自衛官の志願を期待しており、各種機会を捉えて即応予備自衛官への志願の理解を求める。

#### (3) 防衛セミナー（講演会）の実施

昨今の我が国の安全保障を巡る厳しい環境下、自衛隊は常時警戒監視や海外派遣に任ずるとともに、毎年頻発する甚大な自然災害に際して真摯に災害派遣活動に従事しており、自衛隊は国民から最も信頼できる組織として認識されてきている。一方、会員はベテランズとして国民の疑問や不安に対して適切に「かけ橋」となる必要性に迫られている。有識者による講演会を開催して会員や一般参加者に対する最新の安全保障に関する知識の普及を図る。なお、この際には、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した実施要領を作成する。

(4) 慰霊顕彰に関する事項

志半ばにして職に殉じられた殉職隊員の無念に思い致し、その遺志を引継ぎ無事故の決意を表明するため、陸上自衛隊武山駐屯地での神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式を神奈川県自衛隊家族会と共催する。また、基地・駐屯地ごとに行われる追悼式等にも積極的に参列するとともに、自らの発意により慰霊碑の清掃・維持管理を支援する。

先の大戦において国の為散華された英霊に対し哀悼の意を表明するため、終戦日の行事に参列するとともに黙とうを捧げる。また、神奈川県郷友会が主催する「殉国60烈士慰霊祭」に参列する。

(5) 会勢の拡大

会勢拡大は組織の活力の基であることを踏まえ、支部長等は機会を捉えて部隊指揮官に対し、適宜隊友会の活動等を説明し理解を深めるとともに、各級指揮官から退職前の隊員に対する正会員入会の働きかけを要望する。また、上級曹長等出身の会員を主体にして部隊及び基地・駐屯地の上曹会、曹友会等に対しても入会の働きかけの作為を要望する。加えて、退会した会員の再入会、退会防止施策にも着意する。

(6) 県隊友会の在り方検討

検討の2年目であり、令和3年度本部主要な事業予定の研究項目に「隊友会活動の在り方検討」が追加されたことに鑑み、本部からの命題と整合を取りつつ、本県における問題点を個別に吟味し改善のための具体策を導き、要すれば、規則等の改正及び本部への意見具申を行う。

3. 主要な行事予定

別紙のとおり。